

ほっかいどうの社会保障

2013年2月12日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

みんな、人間らしい生活したい！ 弱い者いじめやめよ！
氷点下 80人で「雪まつり宣伝」

2月10日、「札幌雪まつり」に合わせた恒例の勤医協中央病院の宣伝行動が行われ、「介護に笑顔を！北海道連絡会」や勤医労なども含め80人が参加しました。

氷点下の気温でしたが、札幌大通公園・雪まつり会場付近の交差点で、観光客や市民に「医療・介護を充実させましょう」「生活保護の改悪はやめて」「原発はただちになくそう」など、宣伝と署名行動をしました。



今後の宣伝予定

- 2月15日(金) 12時15分～45分 札幌パルコ前 年金支給日全道各地でも行われます
- 2月22日(金) 12時15分～45分 紀伊国屋札幌本店付近 消費税連絡会と共同行動

各地で自治体要請行動続く 切実な要求を自治体に届けましょう！

札幌 道生連 障道協 生保・国保・障害者福祉などの改善求め市と交渉

2月8日、北海道生活と健康を守る会連合会（100名）が生活保護や国保問題などで、2月12日、障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会（30名）が障害者医療・福祉問題で札幌市と交渉しました

道生連 国保・窓口一部負担金減免 「収入減の要件を満たしているのに棄却するのはおかしい」

国保一部負担減免では「札幌市の要綱では収入 20%以上の減少を対象としているに、所得の減少で判断し適用しない(例表)のはおかしい」と事例をもとに是正を求めました。市の担当者は、「実務マニュアルでは所得で判断している。検討はしたい。却下されたものは不服申請してほしい」との回答でした。会では、該当する患者さんと相談して不服審査請求を準備しています。また、生活保護やつなぎ資金、「あったか応援資金」の実施、上下水道の減免などについて交渉しました。

夫婦（各年金収入あり 2012年度は給与収入も）			
(月額)	2012年度	2013年度	減少率
収入	20万円	13万円	35%
所得	0円	0円	0%

障道協 「単身でも市営住宅にも入居したい」「グループホームを増やしてください」



障害者の交通費や医療費の助成拡大、住宅確保、介護保険優先問題、スーパーなどの車イス駐車スペース、聴覚障害者の生活改善などで交渉し、参加者から切実な要望が出されました。

「市営住宅に軽度の知的・精神障害者が単身でも入居できるようにしてほしい」との要望に、市の担当者は「日常生活が可能であるとの判断が難しい」と答え「民間の賃貸住宅への入居については支援をしている」と説明しました。「障害者が地域で生活できるように市が先頭に立って住宅の確保をしてほしい。入居に当たって医師の診断書や支援者の証明書などで判断してほしい」と要望しました。また、「障害を持つ子の高齢者の親から自分に何かあったらと思うと不安も出されているとグループホームの増設も強く要望されました。

旭川 国保一部負担減免などで、市と懇談

2月7日、旭川社保協や道北勤医協が、旭川市国民健康保険課と一部負担減免などについて懇談しました。財源は、市の要件が入院・外来両

2010年度	申請(承認)	116人
2011年度	申請(承認)	31人
2012年度	申請(承認)	11人

方で生保基準 1.2 倍のため国の特別調整交付金の対象にならない(国は入院のみ・生保基準)が、2011年度は道の調整交付金を申請する予定と説明。「件数減少の理由は分からないがもっと活用してほしい」、今後はカラーチラシなどもつくる予定とのことでした。会では、「現在、製造業、特に電機業界ではリストラ、クビ切りが当たり前のように行われています。職を失った方が活用できる制度です。低所得者が活用できる制度へ対象者を広げる運動も重要になってきます」とニュースなどでも活用を呼びかけています。